

「作業路作設オペレーター養成研修」および「集約化・低コスト作業路普及研修」の開催

8月2日(月)～8月6日(金)、日野町蔵王地先の綿向生産森林組合所有林において「作業路作設オペレーター養成研修」および「集約化・低コスト作業路普及研修」を、森杜産業(株)代表取締役の田邊由喜男氏を講師に迎え開催しました。

近年、スギ・ヒノキを中心とする人工林資源が十分成熟し、利用可能な段階に入ったといえます。しかし、伐出作業のコストが高く、材価も低迷していることから、収益が上がらず、林業への関心が低下しています。そのため、作業の効率化・低コスト化を図り生産性を向上させる路網整備や施業の集約化が必要となります。

管内の森林組合等の林業事業体を対象にした「作業路作設オペレーター養成研修」では、低コストで崩れない作業路の作設技術向上を図るため、現場中心での研修を行いました。講師の実演だけでなく、研修生が重機を操作し、個々に指導を受け技術の習得をしました。また、重機の操作技術だけでなく、縦断勾配の修正方法や路面排水の処理



方法、路線配置の考え方など作業路作設に関する幅広い技術の研修となりました。

「集約化・低コスト作業路普及研修」は、市町の林業担当者、林業研究グループ、一般林家等を対象とし、室内と現地を組み合わせた研修としました。室内研修では、施業の集約化・作業の効率化により森林所有者の負担が軽減できることを説明しました。参加者は皆さん熱心で、話を聞いたり作業を見学するだけでなく、様々な角度からの質問をしていました。

路網整備が進むと...

林業機械での施業が可能となり、伐出経費の低減が図られます。山を訪れる機会が増え、適正な森林管理ができるようになります。斜面での作業環境が改善され、労働災害を減らすことができます。



これからも中部森林整備事務所では、施業の集約化と低コスト・高効率作業システムの基盤となる路網整備を推進していきます。

こんな活動やっています

八幡山の景観を良くする会 (略称 八景会)

近江八幡の周辺には、低山ではあ... 八幡山の景観を良くする会... 春の恒例行事になった地元小学校の卒業記念植樹会や、一般市民公募による親子竹掘り大会には約二〇〇人が自然の恵みを収穫する喜びを実感されました。更には夏休み小学生体験学習会などを通じて、市民や子供達に八幡山の自然に接する機会を提供しています。又オプショントラックの設置、竹柵の設置など、観光客にも喜ばれております。侵略竹やナラ枯れ伐採地の空き空間に、紅葉やミツバツツジ等を植樹し、山の彩りを添える活動も毎年継続しております。そして会員の楽しみとして竹林内で椎茸を栽培したり、丸台地に栗の木を植樹しています。更に最近では、真竹を油抜きして竹籠などの竹細工の材料にしたり、竹パウダーにして肥料や飼料として使う実践試験にも取り組んでいるところです。

美しい里山景観の修景保全... 市民が親しみ誇れる山を目指す... 子供達が遊べる明るく安全な里山を創る... 毎月二回の定例作業を五年余り続けた結果、これ迄に一三九回、延べ二八四〇人がボランティア作業に参加頂けました。参加者は主に市内在住の定年退職者で平均年齢も六八歳程度と思われ、お陰で手の付かないような程に荒れていた竹林も美しくなり、鬱蒼としていた竹林も美しきつり、元の明るい里山景観が少しずつ蘇ってきて、一般市民の方にも山に頻りに登られるようになってきております。定例作業会のほか、大学の先生を呼んでの市民対象の里山講習会や、学術調査として、ふる



八幡山の景観を良くする会 (略称八景会) 連絡先 0748 32-2615 世話役代表 村西



八幡山縦走 ハイキングコースの紹介

八幡山は、一五八五年に豊臣秀次がその居城を築いた事で知られており、今でも本丸・西の丸・北の丸・出丸等の石垣が残されています。また、琵琶湖水運として切り開かれた八幡堀と共に近江八幡市民のシンボルになっています。山頂には、秀次公の菩提寺の瑞龍寺があり、毎日大勢の観光客が口づけております。この眺めを楽しんでおられます。湖東地区の里山歩きを定例的に続けています。毎月第一金曜日には、平成十七年の設立以来毎月第一金曜日に湖東地区の里山歩きを定例的に続けています。毎回元気な高齢男女が50人から100人参加し、あちこちの里山歩きと共に、各山に祭られておられる神仏の歴史や高僧のお話を伺い、その山の歴史を学ぶ機会に恵まれます。八幡山の作業ボランティアの仲間達と、仲間同士の語り合いの場、そして健康増進の場として、これからも継続してゆきたいと思っています。



「近江里山を歩こう会」 毎月第一金曜日 世話役代表 塩川 近江八幡市ひまわり館前9時集合 参加料五百円(参加申込不要)

鹿肉レシピ

今、野生のシカの被害が問題になっています。各地で駆除が進められていますが、そのシカ肉の有効活用も必要です。銃で撃つたりワナで捕まえたりは簡単にはできませんが、おいしく食べることで獣害対策に貢献しましょう。

鹿肉の実山椒煮

- 材料(4人分) 鹿もも肉600g 実山椒大さじ4~5 合わせ調味料A (だし汁(鰹・昆布)200cc 酒200cc 砂糖大さじ4 醤油大さじ4)



鹿もも肉: 太い筋を取り除き約1.5cm角に切る。小鍋にたっぷりの湯(塩少々加える)を沸かす。鹿肉を加えて、再沸騰するとすぐザルにあげて、流水でさっと洗う。実山椒: 茎を取り除く。小鍋に【合わせ調味料A】・実山椒を加えて、煮立てる。の鹿肉を加えて、弱火で約1時間30~2時間蓋をして煮る。お肉が柔らかくなり、煮汁がほとんどなくなれば器に盛り付ける。*このまま冷凍保存できます。

出展: 圏域事業「獣害のない元気な里づくり推進事業」成果物 「ニホンシカ」料理レシピ集ベスト219 No.194 提供: 東近江農業農村振興事務所

今回から、漫画「あなたならどっち」から鹿肉レシピにかわりました。オノミユキさん、長い間、ありがとうございました。

山の道員 鎖鋸 (くさりのこ)



聞き慣れない名前だが英語を直訳するとうなるようだ。木を伐る現場では必ずと言って良いほど見かける。実は、世界でもっとも普及している林業機械である。従来の鋸や斧での伐採に比べ格段の能率が発揮できるからだ。しかし、その能力が諸刃ともなる。20世紀の環境破壊の代名詞「森林の乱伐」は、この能力によるところが大きい。時を同じにして、日本では大規模な植林が進められた。その人工林の荒廃が問題になっている。近年、早期に森林整備=間伐をしなければ取り返しの付かないことになりかねない。彼らの力が必要である。威勢の良い回転音はやる気に満ちている今こそ!

編集後記

ようやく秋らしくなってきました。秋と言えば「びわ湖水源のもりづくり月間」ということで、内面は特集です。みなさんも山へ出かけましょう。今回から、編集担当になりました。よろしく願います。(砂田)

毎年10月は「びわ湖水源のもりづくり月間」です。

滋賀県では、琵琶湖と私たちの暮らしを支える森林を県民協働で守り育てるため、「琵琶湖森林づくり条例」において10月1日を「びわ湖水源のもりの日」、10月を「びわ湖水源のもりづくり月間」と決めました。県民の皆様および琵琶湖下流域の人々に、森林のもたらす恵みについての理解と関心を深め森林づくりに積極的に参加していただくよう、「びわ湖水源のもりづくり月間」を中心に県内各地で様々な森づくり活動のイベントが開催されます。

森づくり活動初心者の方でも大歓迎です。森づくりに興味のある方の参加をお待ちしています。

中部森林整備事務管内のイベント

- 10月17日 佐和山山麓竹林での体験学習と周辺の歴史探訪ハイキング
主催 佐和山の森を美しくする会 連絡先 090-7366-0815(来本)
- 10月17日 秋の伐採体験 間伐でスッキリ
主催 永源寺スギファンクラブ 連絡先 0748-27-0452(阿野)
- 10月22日～24日 KOTO森くらしフェスタ2010
主催 湖東流域森林づくり委員会(ページ下方をご覧ください)
- 10月23日 「きぬがさ山」里山林の手入れをします。
主催 中部森林整備事務所(右のページをご覧ください)
- 10月23日 COP10 パートナシップ事業「秋の自然観察会と森林整備体験」
主催 富之郷里山クラブ 連絡先 0749-26-2299
- 10月29日～31日 チャリティー・チェンソーカービング「森の感謝祭 in たかとり2010」
主催 高取チェンソーCLUB 連絡先 0749-49-0635(高取ふれあい公園)
- 11月13日 「グリム冒険の森」森づくりと木工体験
主催 中部森林整備事務所(右のページをご覧ください)

詳しくは、各主催団体にお問い合わせ下さい

「KOTO森くらしフェスタ2010」開催！！

私たちは、水と緑に恵まれた環境で暮らしています。その源となる『森林』の役割や大切さについて、まだまだ知らないことがたくさんあります。

湖東地域の森林のあるべき姿を考える「湖東流域森林づくり委員会」では、森林の現状や森林づくり活動、木の持つ良さを活かした木製品等を広く紹介することにより、私たちの暮らしと森林との関わりを身近に感じてもらい、森林をみんなで守り育てる気運を高めていくことを目的に、今回の催しを計画しました。

みなさんのご来場をお待ちしています。

開催日時 平成22年10月22日(金)～10月24日(日)
10時から17時まで(10月22日は13時から)

開催場所 ビバシティ彦根(1F)センタープラザ、センターモール

主催 湖東流域森林づくり委員会(事務局：中部森林整備事務所)

催し内容 森林や林業の今をパネル等で紹介
地域材を活用した木製品等の展示
緑化木の手入れなど相談コーナー
木工クラフト体験コーナー
木質ペレットによる足湯の実演 など



「きぬがさ山」里山の手入れをします

秋の一日、「きぬがさ山」で、木漏れ日の入る森づくりをしてみませんか？「きぬがさ山」は、昔から人々が生活を共にしてきた“里山”です。近年、放置されうす暗くなってきた森を、もとの明るく、心安らぐ里山にしていきたいと思えます。

作業内容は、山の東斜面のヒノキ林において、枯れた木、混みすぎた木を伐り倒し、2m位に玉切りして林内に集積します。中には、大きく枝を張った雑木などもありますが、みんなで力を合わせて頑張りましょう。

初めての方でも危険の無いように、スタッフが指導させていただきます。自分の体力にあったかたちで里山林の整備にご参加下さい。

開催日 平成22年10月23日(土)

活動場所 東近江市五個荘石馬寺町「きぬがさ山」

集合場所 東近江市五個荘石馬寺町 あじさいさくら公園

集合時間 9:30

活動時間 9:30～15:30

募集人数 30人

参加費 無料



「グリム冒険の森」森づくりと木工体験

日野川の上流部、自然豊かな綿向山。その麓にある「グリム冒険の森」周辺の人工林で、森づくり体験をしてみませんか？植林した木は大きくなるにつれ間伐(間引く作業)が必要です。みんなで間伐をして元気な森を作りましょう。

今回は、ヒノキ人工林での間伐をします。伐り倒し、玉切り、枝払いの作業をノコギリを使ってします。若齢林での作業ですので、子供さんでも参加・体験していただけます。

作業後は、森の素材でつくる木工体験も企画しております。ぜひ、ご参加ください。

開催日 平成22年11月13日(土)

活動場所 蒲生郡日野町熊野「グリム冒険の森」周辺

集合場所 蒲生郡日野町熊野「グリム冒険の森」駐車場

集合時間 9:30

活動時間 9:30～15:30

募集人数 30人

参加費 無料



『琵琶湖森林づくり事業』とは？

平成16年4月に施行されました「琵琶湖森林づくり条例」の理念に基づき、琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりを進めるものです。県民の皆様から「琵琶湖森林づくり県民税」をいただき、「琵琶湖森林づくり事業」として様々な事業を実施しています。

平成22年度からの5カ年は、「急がれる県産材の安定供給体制の整備と地球温暖化防止森林吸収源対策による森林の保全整備の推進」をテーマに取り組んでいます。

森林所有者の皆様へ

環境を重視した森林づくり

県民の皆様へ

県民協働による森林づくり



この事業は「琵琶湖森林づくり県民税」を活用して実施しています。